

# 社協

# おうみはちまん



ひまわり館の正面玄関北側壁面に置9畳の大きさの、社協の各事業を紹介した「案内広報板」が出現。



職員手作りで事業紹介をしています。

## 「ひまわり館案内広報板」を設置しました！

このほど、「こんなことに取り組んでいます」「あなたの温もりでお支えください」と書いた「案内広報板」を正面玄関の北側壁面に設置しました。案内広報板は、たて2.7メートル、よこ5.5メートルの大きさで、ひまわり館の、特に社協の各事業を紹介したものとなっています。広報の内容は、定期的に更新して、行事の案内なども掲載していく予定です。また、「社会福祉事業にご協力いただいております」と書いた余白には、応援して下さる法人・団体さんなどの名前を入れ、広告掲載とします。広告へのご協力をいただける法人・団体の皆さんは、お問い合わせください。

ひまわり館にお立ち寄りのときには、ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

### 目次

令和3年度市社協の事業・決算報告…………… 2・3	福祉でまちづくり座談会・福祉協力員の研修会など …… 6
つながり未来塾・団体紹介…………… 4	デイサービスセンターひまわりの取り組み…………… 7
ボランティア講座・安土デイの閉所について…………… 5	お知らせ(心配ごと相談・善意銀行など)…………… 8



社会福祉法人 **近江八幡市社会福祉協議会**

ホームページ <http://ohshakyo.or.jp/>

近江八幡市土田町1313 TEL: 0748-32-1781 FAX: 0748-36-6910  
E-mail: ohshakyo@gmail.com



ホームページは  
こちら

# 令和3年度の社協事業報告及び決算について、お知らせします!

## 【事業報告】

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の流行により緊急事態宣言の発令がなされ、多くの感染者が出る中、市民生活に大きな影響を与えました。感染症の影響により収入が減った方を対象に行った生活福祉資金特例貸付は、1,300世帯、延べ16億円を超える申請を受け、相談対応にあたりました。また、自宅療養を余儀なくされ、買い物にも行けず困っている方を対象に、民生委員児童委員協議会との協働で新型コロナウイルス感染症緊急食糧支援事業「困ったときはお互いさん便」を実施し、延べ91世帯に食料品等を届けました。

そうした中、行政計画である地域福祉計画と連動した「第3次地域福祉活動計画（令和4～8年度）」を策定しました。この計画は、少子高齢化により世帯の単身化が進み、地域のつながりが希薄化し、一人暮らしの高齢者、8050問題、ひきこもり、ヤングケアラー（家族の介護を子どもがしている）など、困りごとを誰にも相談できず孤立していることから、誰一人取り残さない包括的に相談を受けとめる体制づくり、多様化する福祉課題に対応できる地域組織の基盤づくりを柱に据えています。

また、支えあいのできる地域づくりの推進において、新たに福祉課題の早期発見・早期対応に取り組む自治会単位の見守り支えあい活動が新たに7自治会で発足し、学区単位的生活支援に取り組む活動が、1学区で準備が進められています。

令和3年度から取り組みました「重層的支援体制整備事業移行準備事業」は、これまで「見守り支えあいネットワーク」として推進してきました自治会単位の福祉課題の早期発見・早期対応、学区の課題を共有する場づくりや困りごとの受け皿づくりを活かして、福祉の困りごとを受けとめ、関係機関にスムーズにつなぐ体制づくりやひきこもり家族教室など孤立しがちな方が参加できる場づくりに取り組みました。

さらに、災害時において、直ちに災害時対応ができるよう「災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定」を締結できましたのも大きな成果となりました。

地域住民に信頼される社協経営でもって、地域福祉の推進のため、地域に根差した取組みを進めました。

## 1. 排除と孤立をほっとかない思いやりの育つまちづくり

「思いやりの心をもって、ともに育ち、ともに生きるための福祉のこころを育む」福祉教育の推進として、赤い羽根共同募金による助成で、小学校5校と高等学校1校が取り組みました。退職後男性をターゲットにした、余裕の時間をボランティアへと「キラリ輝く男（おやじ）塾」を4回シリーズで開催。新たなボランティアグループが発足しました。



## 2. 共感し、共有しあえる居場所づくり

自治会単位のふれあいサロンや子どもの居場所づくり（子ども食堂・学びの広場など）の活動支援を実施し、コロナ禍で厳しい制約を受ける中、特に「ふれあいサロン」の活動は、市内134か所で見守り訪問を含めた活動を実施いただきました。



## 3. 見守りと支えあいのつながりのあるまちづくり

長らく懸案となっていました「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を市と締結することができました。この協定は、災害が発生し、災害ボランティアが必要な場合、その設置運営の調整を図る重要な取り決めで、センターをどこに設置するのか、その運営の役割分担、費用負担など、災害ボランティアセンターの根幹をなすものです。今後、地域に根差したセンターの設置・運営訓練、啓発活動、災害時にも福祉課題の早期発見・解決ができる日頃からの取組みを推進します。

#### 4. 市社会福祉協議会の基盤強化

市民の身近な福祉課題の把握の窓口として、「心配ごと相談所」を開催。年間59件の相談を受け、気軽に身近な相談体制づくりを進めました。デイサービスきらめきあづちをデイサービスひまわりのサテライト化に取り組みました。また、職員研修や職員提案を実施し、職員の意識改革に努めました。

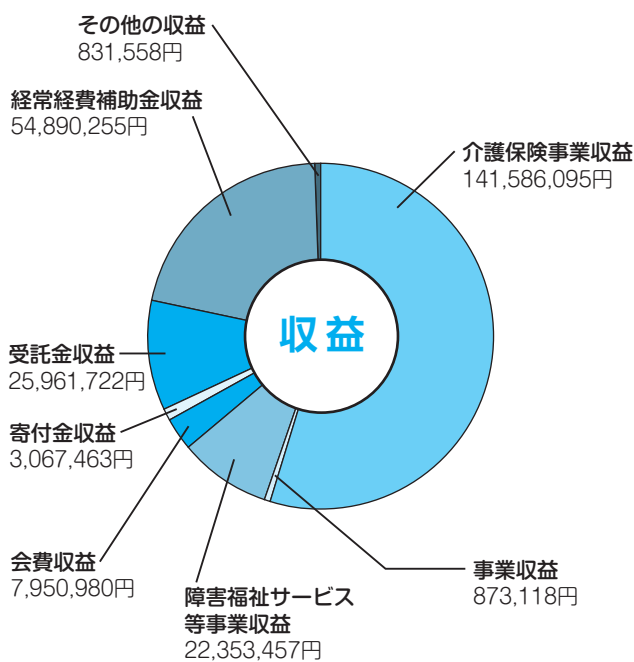
#### 【決算報告】

令和3年度の社協決算は、サービス活動による収益で、257,514千円（前年度と比較して、26,724千円の減）、サービス活動による支出で、265,017千円（前年度と比較して、4,455千円の減）となり、その他の収支を調整しまして、7,467千円の赤字決算となりました。

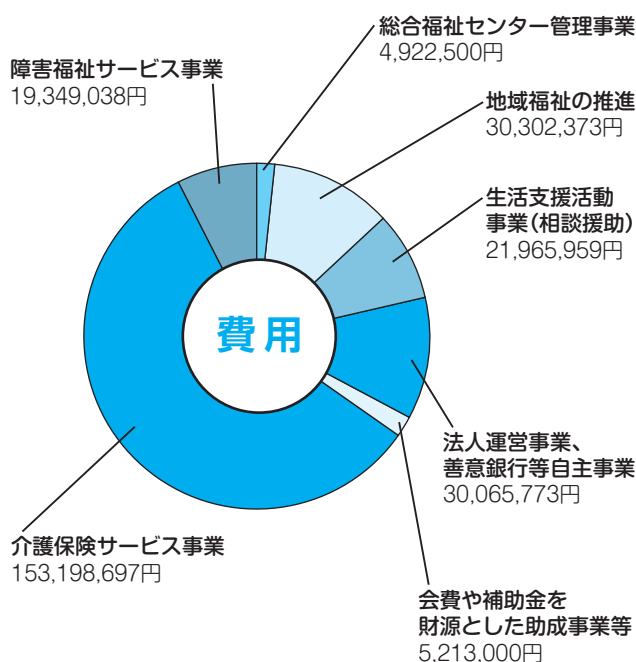
この要因につきましては、最大のものとして、デイサービス（通所介護）事業にあります。旧デイサービスきらめきあづちをデイサービスひまわりのサテライト化（令和3年4月）を行いました。経営状態を好転させる手段とはなりません。コロナ禍でのさらなる利用者の減少や9日間のサテライトの閉所も経営の悪化に影響しています。デイサービスひまわりサテライトは、開所22年を迎え、利用者の減少、施設の老朽化など課題がある中、令和4年7月末をもって閉所する決定を行ったものです。

今後も、健全経営に取り組み、本来事業の地域福祉の推進に力を注いでいきます。

#### 令和3年度 決算



収益合計 **257,514,648円**



費用合計 **265,017,340円**



**EINS**

多彩な働き方を実現する  
田舎型サテライトオフィス

**入居者募集**

**サテライトオフィス**  
滋賀竜王  
Kagami Forest



**アインズ株式会社** UCDAの窓口 TEL.0748-58-8105

本社・工場 / 滋賀県蒲生郡竜王町鏡2291-3(〒520-2573) 【受付時間】10:00~18:00(土日祝祭日除く)

## 広告募集中です！

本紙に広告を掲載されたい企業の方を募集しています。

大きな金額

1枠：縦50mm×横90mm 15,000円

2枠：縦50mm×横180mm 30,000円

その他、お問い合わせは、市社協 総務課まで。

## 近江八幡 つながり未来塾 だれもがともに暮らせるまちづくりを一緒に学びませんか！

### 第1回「成年後見人って何？」～成年後見人の仕事内容をわかりやすくお伝えします～

成年後見制度は、私たちが住みなれた地域で、その人らしく暮らしていくための身近な制度です。しかし、どんなことをしてもらえるのかあまり知られていません。後見人の生の声を聞き、いろいろな疑問を解消しませんか？

日 時：7月8日(金) 10:00~12:00  
話題提供：(公社)滋賀県社会福祉士会 副会長  
村田 才司さん

会 場：総合福祉センター ひまわり館 ホール  
オンライン会場 岡山コミュニティセンター、老蘇コミュニティセンター

お問合せ・申し込みは、地域福祉課へ。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法を変更する場合があります。

#### 【村田さんプロフィール】

村田社会福祉士事務所代表。47歳で他業種から介護・福祉の世界へ。成年後見人として11年、複数の後見案件を受け奮闘中。

## こんな活動をしています

### 近江八幡市赤十字奉仕団！

近江八幡市赤十字奉仕団(高木富砂子委員長：団員624名(うち男性団員106名))は、1952(昭和27)年4月に発足し、防災から地域福祉まで幅広く活動し、一人暮らしの高齢者の見守り活動を続け、昨年は、市の新型コロナワクチンの集団接種会場での運営に協力するなどの活動を展開。

社協の活動・事業にご協力いただいています赤十字奉仕団の活動をご紹介します。



#### 「結成70周年を祝います」記念大会を開催！

3月、節目を祝い、地域奉仕の継続を誓うため「結成70周年」記念大会を開催。誠に、おめでとうございます。社協の諸行事をはじめ、奉仕団の独自の取組みとして火災時の炊き出しや各種の社会奉仕に積極的に取り組み、また、新型コロナウイルス感染症対策としてのワクチン接種会場での来場者に対して「安心」「やすらぎ」のときを作り出させていただきました。永年の活動に対して、近江八幡市長からも感謝状が贈られました。今後とも、ますますの繁栄と活動の継続を望むものです。

#### 主な活動

- ・新型コロナウイルスワクチン接種会場でのボランティア活動  
6月から新型コロナウイルスワクチン接種会場(安土マリエート・ホテルニューオウミ)で、会場の案内、検温・手指消毒の説明及び待機場所への誘導などを行って、接種者への不安を取り除くボランティア活動。
- ・一人暮らしの高齢者の見守り活動  
市内の一人暮らしの高齢者に対して、団員手作りマスクを作製して「一声ふれあい運動」として、安否確認訪問。
- ・介護施設・障害者施設等への訪問・奉仕活動  
団員手作りの「愛の雑巾」として市内介護施設に贈り、障害者支援事業所にはペットキャップや古切手などを集めて寄贈。
- ・街頭献血運動への協力  
日本赤十字社が行う街頭献血に際し、献血運動のご協力を

啓発したり、献血の誘導などの協力。

- ・市内公共施設等清掃奉仕活動  
市総合福祉センター(ひまわり館)や琵琶湖一斉清掃などの各種清掃活動を展開。
- ・「ウクライナ人道危機救援金」街頭募金活動  
ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中ですごされていることから、日本赤十字社が実施している救援金活動に参加するため、市内のJR3駅で街頭募金活動を実施。
- ・その他  
建物火災発生時の炊き出し、小中学校への学習支援や登下校の見守り活動、団員向けには、防災などの研修や他地区奉仕団との交流会などを実施。

#### 新規団員を募集しています！

#### 赤十字奉仕団の活動に参加してみませんか！

\*詳しくは、総務課まで。入団されると、お住まいの学区分団の奉仕団に所属し、活動に参加していただくことになります。

福祉ボランティア講座(4回シリーズ)

「身近な福祉を知って、感じて、そして話し合おう！」  
～見つけてみよう！わたしたちができることのヒント～

『この夏に新しいチャレンジ(challenge)！』市社協は、私たちの身の回りにある「福祉」に関心を持つきっかけづくりとして、次の日程で福祉ボランティア講座を開催します。地域で困りごとを抱える人に気づき、みんなでできることを一緒に学び考える機会にしませんか？多くのご参加をお待ちしています！

福祉の課題は、複雑になっていますが、それを感じ取る機会はなかなかありません。そのため、今回の研修で少しでも触れてもらい考える場となればと考えています。

**第1回** 『外国人も日本人も、  
ともに生きる社会をめざそう』  
講師：ワールドアミーゴクラブ 吉積尚子さん、  
(公財)近江八幡市国際協会 中江保子さん  
内容：活動紹介 やさしい日本語体験  
日時：7月18日(月祝) 10:00～12:00

**第3回** 『手話で仲間になろう』  
講師：市手話サークル連絡協議会  
市聴覚障害者福祉協会 しが言う者友の会  
要約筆記サークルすいごう 他のみなさん  
内容：各団体活動紹介 手話などの体験  
日時：7月30日(土) 10:00～12:00

**第2回** 『子どもの貧困を考えよう』  
講師：(一社)Atlas代表 日野貴博さん  
内容：講演 ワークショップ  
日時：7月21日(木) 10:00～12:00

**第4回** 『受講生どうして交流しよう』  
～講座を受けて感じたことを  
みんなで話し合おう～  
日時：8月6日(土) 10:00～12:00

場 所：ひまわり館 ホール  
定 員：40名  
参加申し込み：TEL、FAX、メールまたは右のQRコード®から  
締 切：7月11日(月)

対 象：市内にお住まいの中学生以上の方  
参加費：無料



※4回を通しての講座になります。1回のみ受講希望の方、手話通訳・要約筆記が必要な方はご相談を。  
申し込みなど ボランティアセンター(地域福祉課内) TEL: 31-2677 FAX: 36-6910 mail: ohchiiki@gmail.com



ご利用ありがとうございました。  
今月末をもちまして、**デイサービスセンターひまわりサテライト  
(旧デイサービスセンターきらめきあづち)を閉所します!**

デイサービスひまわりサテライトは、平成11年4月、旧安土町からの受託事業として、旧安土町社会福祉協議会が開所し、その後、旧近江八幡市と旧安土町との市町合併によりまして近江八幡市社会福祉協議会が引継ぎ、昨年4月にデイサービスセンターひまわり(ひまわり館)のサテライト化を行って、現在に至っております。

このたび、本年7月末をもちまして、閉所を決定させていただきました。介護保険制度が始まったころのデイサービス事業の需要と昨今の状況の変化や、施設の老朽化など経営状況の変化があげられ、閉所にあたって、利用者さんのご希望によりましてデイサービスひまわりで引き継がせていただきます。開所から約22年間、ご利用いただいた皆さんや関係者の皆様、ご利用・ご愛顧いただき誠にありがとうございました。

働く人のより良い環境づくりをサポート



オフィスのことなら  
何でも  
ご相談ください

有限会社 八タサク 近江八幡市魚屋町上8番地 TEL 0748(32)2010

株式会社 三井田商事 Mitsuida

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。また、弊社は57周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16  
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

## 福祉協力員研修会を開催しました

令和四年度福祉協力員に市内一〇学区で三〇〇名の方が就任されました。

福祉協力員は、身近な地域で見守り支え合いを担っていただく方で、地域で支えが必要な人や課題に気付き「アンテナ的存在」として自治会役員や民生委員、地域のボランティアの方たちとともに、活動していただきます。

福祉協力員研修会は、各学区ごとに順次開催し、まず初めに複雑

多様化した地域の福祉の現状を知っていただき、それぞれの地元地域の福祉的な課題に気づき、意見を出し合い解決に向けて話し合う「見守り支えあい活動」について、また、高齢者など地域住民の居場所である「ふれあいサロン」の趣旨や運営について、お伝えしました。コロナ禍においても、工夫をして地域のつながりを絶やさないよう取り組んでいただけますよう、よろしくお願ひします。



島学区福祉協力員研修会を開催

## 『ふくしでまちづくり座談会』を開催します

私たちの住むまちには、さまざまな地域活動をしている方や、地域のために何か力になりたいと思っけてもなかなかきっかけがない方、様々な福祉サービスを提供している事業所や、地域貢献をしている企業もあります。一方で、介護をしている方、障がいがあったり、うまく社会と関わることができないなど福祉的支援の必要な方がいます。

身近な地域に住むみんなは、日々どんなことを思い暮らしているのでしょうか？

近江八幡市社会福祉協議会は、「ふくしのまちづくり」をテーマにお互いが出会い、交流し、思いを分かち合う場として、『ふくしでまちづくり座談会』を開催します。

令和4年8月以降、学区ごとに開催を予定しています。詳細の日程が決まり次第、市社協HPに掲載いたします。みなさまのご参加をお待ちしています。

## 車いす貸出サービスを実施中

市内にお住まいの方で病気やケガで一時的に車いすが必要な方に、無料で車いす（自走式・介助式）の貸し出しを行っています。

昨年は233名の多数の方がご利用くださり、車いすを利用することで「歩行や体力に不安がある祖父母といっしょに旅行に行けた」「介護保険の認定が出るまで使用できてよかった」と感謝の声をいただいております。ぜひ、お気軽にご利用ください。

利用料は無料で、貸出期間は原則1か月です。

※予約制ではありませんので、窓口にご来館ください。



## 演芸ボランティア、ご依頼お待ちしております!

地域でのふれあいサロンなどの集まりが再開され始めています。

近江八幡市ボランティアセンターでは30以上の演芸・出前ボランティア団体の方に登録いただいています。団体によって出向ける状況は様々ですが、居場所の再開で披露できる機会を心待ちにしておられる方々も多くおられます。各団体への状況など社協担当者が調整させていただきますので、レクリエーションなどの開催の機会がありましたら、是非ご相談ください。

(例：大正琴やコカリナなどの楽器演奏、紙芝居、マジック、体を動かすレクリエーションなど)



<申し込み・お問い合わせ先>

地域福祉課：TEL 31-2677

FAX 36-6910

MAIL ohchiiki@gmail.com

# デイサービスセンターひまわり(通所介護)の取り組み

社協は、収益事業と呼んでいます介護保険法に基づく「通所介護事業」、「訪問介護事業」「居宅介護支援事業」と障害者総合支援法に基づく「相談支援事業」、「居宅介護事業」、「ガイドヘルプ事業」を行っています。

今回は、デイサービスセンターひまわり(通所介護事業)の取り組みをご紹介します。

デイサービスは、送迎、健康チェック、入浴、食事、レクなどのサービスを日帰りで提供しています。ゆったりとした雰囲気の中、一人一人の利用者さんの想いを尊重したケアが提供できるように日々精進しています。今では「このデイサービスが一番良い」「ここに来ると元気になって楽しい」などの声も聞こえてきます。

また、コロナ禍で中止をしていますが、中学生や高校生の職場体験学習を積極的に受け入れてきました。介護現場の仕事を体験したり、私たち職員と接したりすることで、介護の仕事に興味を持ってもらい、将来の介護を支えていただきたいと願っています。さらに、自立支援の就労に向けて、有償ボランティアの働く場の提供も行っています。

## 提供サービス内容

### 送迎サービス



自宅までの送り迎えをします。車椅子のまま乗降できるリフト付き送迎車(大型車3台、普通車1台)にて、安全に送り迎えします。



リフト付大型送迎車

### レクリエーション活動の様子

利用者さんに楽しんでもらうだけでなく、健康維持や脳の活性化に効果のあるレクリエーションに力を入れています。お風呂・食事の後には、利用者さんに合った色ぬりやパズルなどで個別活動を。また、音楽を通して高齢者や障がい者などの心身のサポートで、利用者さんは、歌に合わせて手足を動かし、脳トレに励んでいるところです。



音楽を通して、手足を動かし、脳トレに挑戦!



利用者さんに合った個別活動

### 入浴サービス

お風呂は、特殊浴槽(リフト浴とチェアー浴)と一般浴槽の3種類を備えています。

座位・立位の困難な利用者さんにはリフト浴で、歩行が難しい利用者さんはチェアー浴、その他の利用者さんは一般浴で、要介護や身体等の状況によりまして、入浴方法を選択しています。



重度の麻痺などがあり、座位を保つことができない方の特殊浴槽のリフト浴



座位が保てる方の特殊浴槽のチェアー浴



自立度の高い方の広い浴槽の一般浴

心配ごと

相談所



どこに相談すればよいのか・・・。  
 そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談してください。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時  
 場所：総合福祉センターひまわり館

7月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

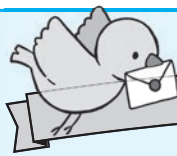
8月

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

ありがとうございます！



善意銀行便り

令和4年4月16日～令和4年6月15日

心温かいご寄付をいただきました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。  
 社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。

(敬称略・順不同)

預託

◆寄付金

- 滋賀県仏教婦人連盟「淡海の会」  
..... 350,000円
- 株式会社昭建  
大津守山近江八幡線補助道路修繕工事  
..... 20,900円
- 藤田花・愛..... 1,500円
- 匿名2件..... 200,000円

◆寄付物品

- 株式会社たねや  
..... コーヒースティック6箱
- NPO法人子育てサポートおうみはちまんすくすく  
..... 日用品169点
- 匿名5件..... 日用品17点、食料品50点、  
衛生用品13点、米25kg、食材13kg

払出

◆払出物品

- 生活困窮者... 食料支援11件、日用品4件
- 子ども食堂..... 米105kg、食料品50点、  
日用品169点、食材13kg
- 子ども支援団体..... 米35kg
- 広域居場所実施団体..... 米60kg
- 小規模多機能居宅介護施設  
..... 衛生用品36点

令和3年度 寄付金総額2,138,481円 寄付物品 食料品1738点、衛生用品219点、日用品1328点、米2068kg、  
 その他皆様からいただいた浄財は、福祉事業や福祉事業所及び生活困窮者支援等に使用させていただきました。

傾聴ボランティア 始めてみませんか？

「こんにちは。お変わりないですか」の会話で始まる傾聴ボランティア。お話相手を希望される方に耳を傾けます。  
 昔のこと、幼いころの話、趣味や最近の出来事など。その方の人生経験のお話から色々なことを教えて頂き、聴くことで社会貢献が出来ます。

現在は、核家族化が進み人と話し合う機会が減りました。また、新型コロナウイルスによりますます会う機会も話す機会も減り、心を通わすことが少なくなりました。  
 相手に寄り添って話を聴かせて頂き、理解し心穏やかに過ごして頂くことを目指しています。

主な活動内容

・傾聴訪問は、月1回程度、2人1組で。定例会は第1水曜日。研修会や交流会などを開催。  
 興味のある方はご連絡ください。

傾聴ボランティア

『うさぎのみみ』

問合せ・連絡先：ボランティアセンター  
 (TEL31-2677)



令和3年12月の研修会の様子

編集後記

今月号から紙面を新たに！7月号と来年1月号は紙面を8ページとし、青色との二色刷りとなりました。社協の協力団体の紹介や社協本来の地域福祉事業を支える通所介護や訪問介護などの事業もシリーズで掲載していきます。今後も、紙面充実に向けて。ぜひ、ご一読を！

この広報紙は会費と共同募金の助成金でつくられています

ふくしのお困りごとは  
 市社協まで！ 0748-32-1781



- インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

